

創立130周年記念式典

福高の歴史 これからも…



よろこびの言葉を述べる金澤さん

10月25日（金）に創立130周年記念式典が行われました。

式典では、亀遊知子校長が「先人の思いや母校の歩みを振り返りながら、それぞれがよりよい未来に向かって、新たな歴史を築く決意を固めてほしいと願っています」と式辞を述べました。

生徒会長の金澤璃奈さんは「本校の歴史を心に刻み、先輩方や後輩たちが誇りをもてる学校を作り上げていきます」と述べ、本校のさらなる発展と躍進を誓いました。

除幕式

除幕式では新たに完成した正門がお披露目されました。

生徒会副会長の萩原万奈佳さんが「すばらしい校門の完成にご尽力いただいた皆さんに感謝しています」と喜びを語りました。



▲ 除幕式でお披露目された正門

◀ 感謝の言葉を述べる萩原さん

記念講演

記念講演では、山崎光悦先生（S45年卒）を講師にお招きし「21世紀を生き抜く南砺福野高校の皆さんに伝えたいこと ～未来のリーダーとなるために～」と題して、ご講演をいただきました。

これから進学や就職を目指す生徒たちに、教養や専門分野の知識・スキルを身につけ「己を磨く」ことの大切さなどについて語っていただきました。



山崎光悦先生による講演

芸術鑑賞会

午後は芸術鑑賞会を行いました。

東北地方の郷土芸能「鹿踊（ししおどり）」を鑑賞し、迫力ある踊りや太鼓の音色に圧倒されました。

ワークショップでは、生徒たちが「鹿頭（ししがしら）」と呼ばれる被り物や「ささら」などの装束を身に着け、その重さを体感しました。郷土芸能の魅力や、災害と芸能との関わりなどを学び、有意義な時間を過ごすことができました。



東北の郷土芸能「鹿踊」を鑑賞

球技大会

さわやかな秋空の下、球技大会が10月17日(木)に行われました。

男子はグラウンドでサッカーを行いました。午前の予選リーグを勝ち抜いた各学年6チーム、計18チームが午後の決勝トーナメントに出場し、学年の枠を超えて競い合いました。PK戦で勝敗を決した試合もあり、会場は大いに盛り上がりました。決勝戦では15HAチームが3年生相手に果敢に攻めて勝利し、優勝をつかみました。

女子のビーチボールは、学年ごとに予選リーグ、決勝トーナメントを行いました。会場は終始歓声に包まれ、仲間と互いに励まし合い協力する姿が見られました。各学年の優勝は15HDチーム、22HBチーム、36HAチームでした。

どのクラスも一生懸命戦い、生き生きと試合に取り組んでいました。特に3年生にとっては、高校最後のイベントで楽しい思い出を残すことができたのではないのでしょうか。

球技大会の結果は以下の通りです。

| | 男子（サッカー） | 女子（ビーチボール） | | |
|----|-------------|------------|-----|-----|
| | 全学年 | 1年 | 2年 | 3年 |
| 1位 | 15A | 15D | 22B | 36A |
| 2位 | 33A | 17A | 27A | 33B |
| 3位 | 34B 267A | | | |

(※)男子は全学年で3位まで、女子は各学年2位までを表彰

